

## 第7回 MLC 国際会議 各 MLC とマリアニスト家族へのメッセージ

---

### 国際 MLC チームから各 MLC とマリアニスト家族へのメッセージ

第7回 MLC 国際会議に、5大陸の25ヶ国から98人が集まりました。彼らは見事なまでに多色で、また多民族であり、多文化的傾向をもつモザイクを形作りました。それは33ヶ国の中にあるひとつ、または複数の共同体、すなわち587共同体の6481人の会員から成る信徒マリアニストの世界的な現実を現していました。

退任する MLC 国際機構(IO-MLC)の会長であるフェリックス・アルケロス・ペレは、2018年8月12日から18日まで、韓国のソウルで開かれる MLC 国際会議の開始を宣言しました。

フェリックスは、1993年つまり、25年前チリのサンチアゴで第1回 MLC 国際会議が開催されたことを述べました。同時に SM と FMI は創立200周年をお祝いしたばかりですし、AM は50周年を祝いました。これらの祝典を通して、それぞれの枝は家族としての絆を強めてきました。

回章の中で、フェリックスは今回のイベントのテーマ、マリアニスト家族として手に手をとって歩く、を書いています。彼は今日、以前にも増して、わたしたちはマリアニスト家族の中で、神とそして兄弟姉妹と手に手をとって歩くよう呼ばれていると述べました。

「…シャミナード神父は確かに柱の聖母の前で、このようなわたしたちを夢見ていました。師は世界と教会の中でわたしたちを家族として見ました。そのわたしたちはマリアがなされたように、この世にキリストをもたらすために手に手を取って働いています。

わたしたちのカリスマに感じ入り、マリアニストの仕事に携わってそのカリスマを生きている多くの信徒協力者がいますが、MLC 中にある信徒マリアニストとその人たちを識別することを学ばなければなりません。MLC 中で信徒マリアニストであるということは、個人的な選択であり、共同体の中でマリアニスト・カリスマからでてくる信仰を生きるために神から呼ばれた応えなのです。呼びかけがあり応えがあります。それは仕事ではなく、司牧的協力ではなく、ミッションや活動ではありません。それは神の呼びかけに対する召命の応えであり、教会が認めた国際的な私的信仰者組織の明確な会員であることを求められています。」

全体セッションの時、マリアニスト家族の4枝を代表するパネリストは、わたしたちの個人的な恵みと能力を分かち合うよう、家族内で共に歩くことを促しました。

#### ドミンゴ・フェンテス(SM)

- ・ 共に歩くために、3つの動詞を提案しました。:分かち合うこと、協力すること、信頼すること。
- ・ 協力するために、3つの特徴を示しました。:管理、相互依存、熱心さ。
- ・ 信徒が家族を鼓舞し、信徒の見方、熱意、献身がわたしたちマリアニスト家族を豊かにすると述べました。

#### シスターテレ・フェレ(FMI)

- ・ わたしたちは共にさらに強くなり、生活のリズムと違った生活様式を生きていると述べています。
- ・ わたしたちは教会の中心が修道者ではなく、信徒であることを受け入れています。
- ・ わたしたちはこれを当然のことと考えなければなりません。

#### アガサ・セノウ(AM)

- ・ マリアニスト・カリスマについてより共通した養成を発議しました。
- ・ 彼女は地元の家族評議会を通して、より一層のやり取りを勧めました。
- ・ ミッションを考慮して、共同して能力を使うために、枝間を交えての経験を分かち合うことを推奨しました。

#### ジム・ヴォート(MLC)

- ・ すべての枝は、共通のミッションに従事しなければなりません。
- ・ それは時のしるしを識別し、共に答えを見出すことを意味します。これは新しい何かであり、信徒に要求されるものです。
- ・ 世俗的な動きの中心となる霊的家族として、家族を見るのが大切です。

以上のパネル・ディスカッションで以下のことがわたしたちに問われています。

- ・ マリアニスト家族のこの見方は意味あることですか。
- ・ この見方はわたしたちを行動へと促しますか。
- ・ わたしたちはこの見方を築くために自分の人生を喜んで与えますか？ 隣人と共に行動しますか。

これらの意見は、マリアニスト家族内で信徒の役割について新しい考えを吹き込みました。つまり、さらに責任を持ち、家族内の他の修道会の枝と平等なパートナーシップ関係を持つということです。

- ・ それは家族内でのより積極的な信徒の役割に対する呼びかけでした。
  - 家族内で行動を起こす責任をさらに負うことを受け入れる。
  - 家族内で行動を起こすより強い声となる。
  - 家族内でよりリーダーシップを取る役割を果たす。
- ・ それは家族の他の枝の中で、さらに自由に能力と恵みを分かち合う呼びかけです。

これはわたしたちが互いに聞き、学び、分かち合い、貢献する時、他の枝のそれぞれから相互の敬意と認識を呼び起こします。

マリアニスト家族としてこのコミットメントを生きることから、次の4年間、すなわち2018年から2022年にわたしたちの活動が焦点を当てる4つの主な分野が明らかになりました。

- ・ **養成** — 高度な訓練を通して、マリアニスト家族と教会の中で、MLC がリーダーシップを取る役割を果たすことを広げかつ推進するために、初期の段階と継続的な育成に欠くことのできない養成を促進する。その手段、内容、配布方法はそれぞれの国で独自のやり方を取る。
- ・ **青年に対する職務** — 青年のためにまた青年と共にする活動を促進し鼓舞する。マリアニスト家族を通してイエスと共にいる経験を生きるために、地域及び国際レベルの両方または一方で、青年との会議を持つ。
- ・ **貧しい人たちと置き去りにされた人々に対する奉仕** — 貧しい人たちと置き去りにされた人々と連帯して彼らへの奉仕を実践し、社会正義を実行するために具体的なプログラムを促進する。物質的に貧しいだけでなく、精神的に貧しい人々のためにも適切なプログラムを作る。
- ・ **信徒の枝の持続性** — 世界的な規模の MLC に所属しているという意識を強め、国内的にも国際的にも、信徒の枝の活動を実行可能にするために、年収の最低時給を信徒マリアニストのために寄付する約束を達成する。

これらの4つの課題は、今後4年に亘ってわたしたちの活動を進めるにあたって具体的な行動を実行する際に、信徒マリアニストが創造的であるよう呼びかけています。

- ・ わたしたちは意思決定と統治機関において、他の枝の会員の積極的な参加を招き、手助けし、促進することを学ばなければならない。
- ・ そして、信徒の枝として、わたしたちはマリアニスト家族の財政的な必要性を公平に分かち合うために、ステップアップしなければならない。これは義務であり、わたしたちが成熟していることのしるしである。

家族内にある共通するマリアニスト召命により、最も大切なことは、これらの課題が教会の「マリアの顔」の発展に貢献するようわたしたちを招いているということです。フェリックスは回章で次のように述べています。

「わたしたちは洗礼に由来する共通した尊厳に基づき、位階制というより友愛に満ちるよう呼ばれています。すなわち、繊細で、マリアのようであり、世界の必要性に応え、マリアと共に、主が言われることに無条件で信仰によって応えます。

今は信徒の時代です。遠慮なく、情熱をもってわたしたちからカリスマを生きる時代であり、教会に、遠くにいる兄弟姉妹に、移住者に、苦しんでいる人に、自分自身を開放する時代です。

長い時間待ってしびれを切らすことがありませんように。

聖霊がわたしたちを導いてくださいます。…」

国際 MLC チームは、マリアがわたしたちになされたこの呼びかけ、すなわち、家族の中で、私があなたに言うことは何でもしてください、ということ喜んで受け入れ、黙想し、分かち合うよう招きます。

- ・ 共同体と家族評議会の中で、このメッセージと韓国での会議結果の4つの課題についてよく話し合ってください。
- ・ 創造的かつ大胆になってください。
- ・ このメッセージや課題を実現し発展させるために、具体的な実行計画を作成してください。
- ・ あなた方の行動を分かち合ってください。それが他の人たちを奮い立たせることになります。

受胎告知から始まって、カナとカルワリオを通して、神の国の祝宴まで、マリアがわたしたちと同伴して下さいます。 神さまが世界中のすべての MLC を祝福して下さいますように。

ビトリス・ルブラン	(IO-MLC 会長)
フランシスカ・ミュジ・ジェール	(アフリカ代表)
メルセデス・ドウ・ラ・クアドラ	(ヨーロッパ代表)
ニディア・ロドリゲス・サラザー	(ラテンアメリカ代表)
マルセタ・フレミング・ライリー	(北米、アジア、アイルランド代表)
ドミンゴ・フェンテス	マリア会 (責任役員)